

## セブン&アイ HD の事業構造改革一格付に影響せず、各事業における施策の成果に注目

以下は、株式会社セブン&アイ・ホールディングス（証券コード：3382）のグループ戦略と事業構造改革についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

- (1) 当社は10日にグループ戦略と事業構造改革を公表した。成長戦略として7-Eleven, Inc. (SEI) による北米およびグローバル展開の強化などを掲げている。その一方、イトーヨーカ堂 (IY) およびそごう・西武 (SS) はスリム化による収益安定化、セブン-イレブン・ジャパン (SEJ) は再成長に向けた基盤造りを目的に、事業構造改革を実施する。
- (2) SEJ では、20年3月よりインセンティブ・チャージの見直し、20/2期下半期以降に約1,000店舗の閉鎖・立地移転を予定している。IY では、33店舗についてグループ内外企業との連携や閉店を検討するほか、約1,700名の人員適正化を計画している。SS では、5店舗の閉鎖と2店舗の売場面積削減のほか、約1,300名の人員適正化を進める予定である。
- (3) 今回の事業構造改革は当社グループの損益財務の見方を大きく変えるものではなく、現時点では格付への影響はないとJCRでは判断している。従来からJCRでは、SEJ、SEIが展開する国内CVS事業および海外CVS事業を中心に、グループ全体で高い収益力を確保していくとみてきた。SEJでは、インセンティブ・チャージの見直しが業績にマイナスの影響を与えるが、本部人員適正化や新レイアウト変更の効果が見込まれ、高い収益力の維持は可能と考えられる。IY、SSは店舗閉鎖や人員適正化を進めていくことで一定の業績改善効果が見込めよう。店舗閉鎖などによる損失発生が予想されるが、財務に与える影響は限定的とみられる。
- (4) SEJでは、加盟店支援策の推進により事業基盤のさらなる強化が図れるか注目される。IYおよびSSでは、リストラ施策の進捗とその成果のほか、店舗競争力の強化状況も注視していく。

(担当) 千種 裕之・大塚 浩芳

### 【参考】

発行体：株式会社セブン&アイ・ホールディングス

長期発行体格付：AA+ 見通し：安定的

発行体：株式会社セブン-イレブン・ジャパン

長期発行体格付：AA+ 見通し：安定的

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル